

(学校用)

様式 A-1

平成 27年 11月 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 広島大学附属福山高等学校 遠藤 啓太
2. 講師氏名: Marco PELLITTERI
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 27年 11月 14日 (土) 13:30~15:30
5. 参加生徒: 1年生 11人、 2年生 11人、 3年生 0人 (合計 22人)  
備考: 普通科の生徒 希望者
6. 講演題目: (英文)  
**The features of the success and cultural impact of Japanese anime and manga in Europe**  
(和文) ヨーロッパにおける J・カルチャーのソフト・パワーと日本イメージ
7. 講演概要:
  - ①ヨーロッパ(特にイタリア)で日本のアニメがテレビで放送されるようになった背景についてイタリア社会との関係について。
  - ②日本のアニメをテレビ放送で見た世代が中心となって、マンガの輸入を推し進めたり、日本の文化全般に対する関心をヨーロッパ内で喚起したりしたことについて。
  - ③ヨーロッパにおける日本のポップカルチャーの浸透された経緯の研究を受けて、日本政府が行っている「COOL JAPAN」戦略について外国の方から見た見解について。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1)講演時間 80分 質疑応答時間 30分
  - (2)講演方法 プロジェクター使用による講演
  - (3)通訳 なし
  - (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ) 事前に送られた要旨
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: